

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

プログレ総合研究所

②事業者情報

名称：	かいとホーム	種別：	共同生活援助
代表者氏名：	辻 堅仁	定員(利用人数)：	20 名
所在地：	〒352-0012 埼玉県新座市畑中2-8-4	TEL	048-485-8769

③評価実施期間

令和 7年 7月 1日(契約日)～令和 8年 2月26日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

1、職員に対してもわかりやすい説明と手本を示すことで職員のスキルアップを図り、サービスの質の向上に繋げている
 利用者支援には、個別支援計画の実施有無や状況変化等職員が共有しなければならない情報が多いが、その重要な情報源となるケース記録の書き方について、職員によって内容の不足や訂正があるという課題があった。そこで、事業所独自の記録の書き方手順書と書き方見本を作成したところ、記録者に修正を求めることは減り、記録内容の充実化と仕事の効率化に効果を得ている。利用者の支援に追われていると見逃がしがちなことであるが、当事業所では、職員にもわかりやすい説明や工夫をすることで、職員のできることを増やしており、それが利用者へのサービスの質の向上に繋がっている。

2、どの職員も個別支援計画に記載されたサービス内容を理解し、サービスの実施漏れがないよう管理できる仕組みが構築されている
 ケース記録には、個別支援計画の内容がわかるようになっており、職員は、その日におこなった個別支援計画のサービス番号と内容を記録している。また、ケース記録には爪切り、髭剃り、耳掃除など生活に必要なことがリスト化されており、職員はおこなったことにチェックをすることになっている。おこなった内容を記録することで、職員は、やっていないことも把握することができ、職員が交代してもかたよりなく支援できるしくみが構築されている。

◇特にコメントを要する点

1、小さな選択の経験をもとにした生活スタイルの充実を期待する
 当事業所では、いろいろな場面で利用者の希望を聞いており、日曜日の昼食は、利用者に食べたものを聞いてメニューを決める日としている。その際、言葉でのコミュニケーションが難しい人には、食べ物の写真を印刷し、それを指さしてもらったものを職員が購入している。この方法も意思決定支援の工夫の1つではあるが、同じ麺類であってもいろいろな味があり、食べたことのないものを選ぶことは誰でも難しい。意思決定能力は、意思決定支援者の支援力によっても変化することから、利用者の能力に応じた情報提供の方法や経験できる機会等も視野に入れ、小さな選択の機会が増えることで支援付き意思決定体制により進むことを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度評価を受けたことで気付いた点・改善が必要であると感じた点・現状に満足せずより研鑽を積まなければならない点など多くの気づきがありました。通常では外部の方が実現場の観察や実施している記録など評価して頂くことは無く、風通しの悪い状態となっておりますが、今回評価を受けたことでより風通しの良い事業運営に繋げていけたらと考えております。つきましては、当事業所に関わるすべての方の顧客満足度を向上させ、選ばれる施設を目指してまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり